



九州大学医学部 学生国際交流プログラム

米国 語学研修報告書 2013



シリコンバレー英語研修プログラム

[Silicon Valley English Study Program(SVEP)]に参加して

目 次

<はじめに> 医学部医学科・生命科学科 教務委員会副委員長 吉田 素文 1

[第一部] カリフォルニアでの語学研修：シリコンバレー英語研修 (SVEP) に参加して

医学科 1 年 白石 仁／廣瀬華子／宮本燎平

山本瑛裕／横山龍三

保健学科 2 年 松田彩香

San Jose State University について	白石 仁	3
アメリカでの講義	横山龍三	3
フィールドトリップについて	廣瀬華子	4
Field Trip について	松田彩香	4
ホストファミリーと過ごして得られたこと	横山龍三	5
放課後の過ごし方	山本瑛裕	5
放課後の過ごし方	白石 仁	6

週末の過ごし方について	廣瀬華子	6
週末の過ごし方	山本瑛裕	7
SVEP を経て変わったこと	横山龍三	8
留学全体を通して	山本瑛裕	8
留学全体を通して	廣瀬華子	9
留学全体を通しての感想	宮本燎平	10
留学全体を通して	松田彩香	11
<写真のページ>		12
[第二部] 留学に対する感想他 (英語版)		15
英語によるプレゼンテーションの資料	廣瀬華子	24
英語によるプレゼンテーションの資料	松田彩香	25
[第三部] 平成 23 年度 シリコンバレー英語研修プログラム		
九州大学医学部同窓会誌「学士鍋」第 162 号から		27
<あとがき>	世話教員 續 輝久	32

はじめに

九州大学医学部医学科・生命科学科教務委員会で学務担当副委員長を担当する立場から、この英語研修プログラムの位置づけと意義について述べる。

まず、九州大学は「確かな学問体系に立脚し、学際的な新たな学問領域を重視しながら、豊かな教養と人間性を備え、世界的視野を持って生涯にわたり高い水準で能動的に学び続ける指導的人材を育成する」ことを「大学の基本的な目標」と位置付けている。また、医学部としては「急速なグローバル化、国際化の進行を背景として、世界各地で起こっている国際紛争や災害、環境問題や格差社会などの課題を地球規模で捉え、解決する能力と国際的視野をもつ人材が求められており、医学の分野においても、そのような人材を輩出することを九州大学医学部の重要な責務と捉えている」と述べている。

また、米国内に拠点を持つ日本の大学間の連携を図り、大学の国際化や産学連携などの諸活動を支援するための組織である JUNBA (Japanese University Network in the Bay Area) の 2013 サミット報告「九州大学における教育の国際化と質保障と取組」(2013 年 1 月 12 日)の中で、英語教育については「“英語を学ぶ”から“英語で学ぶ”」教育への転換を謳っている。

一方、全学的に導入が進められている学習成果基盤型教育 (Outcome-Based Education) の一環として、平成 24 年度に医学科と生命科学科は、教育の目的として「地域医療と国際的視野に立ち基礎医学および臨床医学の先端的研究に貢献できる人材を育成すること(医学科)」および「国際的視野に立ち生命医科学領域の教育・研究に貢献できる人材を育成すること(生命科学科)」を掲げた。さらにいずれの学科も、到達目標として「日本語ならびに外国の医学生物学論文を読解し、その内容を他者に分かり易く説明するためにプレゼンテーションすることができる」を掲げた。

現在のところ、医学科・生命科学科では、平成 20 年度以来、単なる医学用語の修得のための授業だけでなく、海外で活躍する日本人や日本で活躍中の外国人による動機付けのための授業を行ってきた。また、高年次でドイツ、米国、英国、韓国などの医科大学で臨床実習に参加する機会を提供している。生命科学科では、英語による科学的なコミュニケーション能力の習得を目標に、研究室配属での研究成果を基にプレゼンテーション制作を行っている。今後当面の間は、上記の教育の目的や到達目標の達成度を評価しながら、カリキュラムの改革サイクルを回していくことになろう。

この「シリコンバレー英語研修プログラム (SVEP)」は、上記のような国際的な視野と問題解決能力を持って世界に羽ばたく人材の育成の一環と位置づけられており、その成果が期待されている。読者諸兄におかれては、この報告書の本文に、そのような若者の片鱗が現れているかどうかを、ご吟味いただきたい。なお、この英語研修プログラムのこれまでの経緯や今回のプログラム

の参加者、運営の概要等については、これまでの運営にご尽力いただいた續輝久教授による「おわりに」に詳しいので、そちらを参照されたい。

医学教育学講座 吉田 素文

San Jose State University について

医学科 1 年 白石 仁

九州大学カリフォルニアオフィス主催の語学研修プログラムに参加して、私たちは一ヶ月間、サンノゼ州立大学(SJSU)で英語の授業や講義を受けました。SJSU は 1857 年に開校された歴史のある大学で、キャンパスはサンノゼのダウンタウンに面しており、周りには多くのショップやレストランがあります。SJSU の学生はアメリカ人だけでなく、ヨーロッパやアジアなど世界の様々な国から留学に来ている人も多く、人種も多様です。大学自体も広くきれいですごくいい雰囲気です。SJSU では学生によるイベントも豊富で、Coffee Night という留学生同士で話しあえるイベントや、ゴルフやサッカーなどのスポーツイベント、大学のフットボールチームが主催するイベントなどたくさんあります。僕たちもいろいろなイベントに参加し、多くの友達ができました。また、SJSU の学生は皆親しみやすく、私たちが授業の一環で学生にインタビューしたとき、誰も楽しそうに受け答えしてくれました。英語を学ぶにはとてもいい環境であったし、授業以外でも学生の行事などが盛んであったので、充実した 1 ヶ月を過ごすことができました。

アメリカでの講義

医学科 1 年 横山 龍三

アメリカでの講義で自分が学んだことは、スピーキングやリスニング、プレゼンテーションスキルについてだったが、その中で、自分にとってもっとも印象深かった講義は、プレゼンテーションスキルの授業だった。日本の英語教育では、プレゼンテーションのやり方に関する講義はおこなわれていないので、アメリカでプレゼンテーションスキルを受講できたことはとても嬉しかった。アメリカで実際にプレゼンテーションを2回経験したが、プレゼンテーションスキルを受講したお陰で以前よりもわかりやすく、また相手の興味が引けるようなプレゼンテーションが出来るようになったことを実感した。

アメリカの講義と日本の講義との違いも印象的だった。日本の講義は、教員が授業内容を話し、生徒はただそれらをノートにまとめるだけで、生徒と教師の間にやり取りはほとんど存在しない。しかし、アメリカの講義は、生徒と教師のやり取りありきで授業は進められる。教師は生徒に意見を何度も発表させ、それをもとに更に授業を展開していく。教師と生徒のやり取りが無ければ、アメリカの講義は全く成り立たないだろう。教師から意見を求められるからこそ、アメリカの学生は必死に考え、意見を絞り出すのだろうと感じた。どちらの講義が良いかは単純には判断することは出来ないが、日本の講義にも多少、教員と生徒とのやり取りが必要ではないのかと感じた。

フィールドトリップについて

医学科1年 廣瀬 華子

私たちが滞在したサンノゼはシリコンバレーの名で知られているように、様々な企業・研究所が集まっています。SVEP では週に1日フィールドトリップと称して企業・研究所・大学に訪問しました。

私が訪問したのは Yahoo! 社、Google 社、Oracle 社、Intel Museum といったような IT 関連のところだけでなく、Plug and Play Tech Center という起業を志す人と投資家に交流の場を与える会社など多岐に渡っています。Yahoo! 社や Google 社、Oracle 社を訪問した時には、現地で実際に働いていらっしゃる日本人の技術者の方々が直接会社内を案内してくださり、現地のことや企業のことについて興味深いお話を聞くことができました。

このフィールドトリップは工学系に関連した訪問が多く、私自身が詳しくないために理解がおいつかないこともありましたが、様々な企業や研究所が集まっているシリコンバレーならではの先進的な職業環境を実際に見て知ることは四週間の留学において貴重な経験となりました。

そのなかでも私が印象に残っているのは Intuitive Surgical 社の訪問です。その企業が製造している手術支援ロボット da Vinci®は九州大学病院にも導入されています。私たちはそのロボットの製造過程を見学しただけでなく、実際に操作も体験して、医学に携わる人間としてとても貴重な経験をすることができました。

Field Trip について

保健学科 看護学専攻2年 松田 彩香

サンノゼはシリコンバレーと呼ばれる地域であり、アップルや Yahoo、Google など世界を代表する企業の本社をはじめ、これから市場を拡大していこうとする企業が多く立ち並ぶため競争が激しい地域です。SVEP では Field Trip と称してこのような会社を訪れ、起業精神やアメリカの会社の風土を学ぶ機会が毎週設けられていました。私達は 1 か月間で多くの企業を訪問し、これから世界に躍進していこうとする企業についてや、アメリカの企業の自由で実力を重んじる風潮、アメリカで働く日本人の苦労を見聞きすることができました。この中で最も印象的であったのが Intuitive Surgical 社への見学です。Intuitive Surgical 社では da Vinci という手術用の医療ロボットを製造している企業です。日本でも九大病院を筆頭に da Vinci を取り入れる病院が増加してきています。da Vinci を実際に体験し、また、Intuitive Surgical 社の社員の方の話を聞き、最先端の医療というものを体感することができました。それまでは目の前の医療にしか目を向けていなかったですが、そこには大きな技術の進歩や市場など混在しており、これから世界的な視点で広い知識を持つ必用であると実感しました。

今回、Field Trip を通して、世界を相手にしのぎを削る企業を訪問できたことは非常に価値のあるものでした。世界的な視点の大切さを実感できる体験であったと思います。

ホストファミリーと過ごして得られたこと

医学科1年 横山 龍三

今回の SVEP で私は初めてホームステイを経験した。ホストファミリーに会って最初に驚いたことは、ホストファミリーがスペイン人であったことだ。アメリカに留学するのだから、ホストファミリーはアメリカ人なのだろうと考えていたので、最初はとても驚いた。ホストファミリーは、あまり英語が話せる方ではなく、意思疎通は、互いに片言な英語でおこなわれた。これでは、あまり英語の勉強にはならないのではないかと最初は思ったが、今では、むしろこれで良かったと思っている。なぜなら、意思疎通をする手段は、英語を話すことだけでは無いのだと気づくことが出来たからだ。身振り手振りはもちろん、iPad もまた意思疎通に有効な手段だった。日本の文化を伝えたいとき、iPad を使ってインターネット上の画像をみせることで、言葉よりもより簡単かつ具体的に伝えることが出来た。英会話の能力はあまりあがらなかったかもしれないが、伝達力はおおいに身に付いたと感じた。

ホストファミリーと過ごすことで、自分はアメリカの文化を経験することが出来た。それにより、アメリカの文化はもちろんのこと、日本の文化というものについて考えることができた。この経験は今後外国人と交流する際、多いに役立つだろう。

放課後の過ごし方

医学科1年 山本 瑛裕

平日は夕方5時まで授業があり、それが終わるとあとは自由な時間です。個人によって、また、ホームステイ先によって過ごし方は変わりますが、ここでは僕の放課後の過ごし方を簡単に紹介します。

San Jose State University の構内には、九州大学でいうところの生協にあたるような Student Union という建物があります。放課後にはそこで友達とボーリングやビリヤードをしたり、日本にいる友達へのお土産を探したりして過ごすことが多かったです。友達のお土産の中で、一番気に入ってもらえたのは、サンフランシスコで買ったキーホルダーでした。San Francisco と書いてあり、写真も入っているものだったので、地元らしさがあったようです。また構内には図書館やプールもあり、大学のすぐ近くには映画館やレストランもあるので、大学周辺だけで楽しい時間を過ごすことができます。僕は映画は観なかったのですが、友達は英字幕付きの映画を観て、とてもいいリスニングの練習になったと言っていました。大学近くに、Flames というレストランがあり、そのステーキはまさにアメリカサイズといったような大きいステーキが食べられるのでお勧めです。

毎週火曜日には、学校近くの International House という留学生向けの寮で、Coffee Night という留学生どうしの交流会が開かれていました。誰でも無料で参加できるので、火曜日の放課後はそれに参加しました。留学生はいろいろな国から来ているので、特徴的な訛りのある英語とふれあういい機会になりました。

ホームステイ先で門限があっても、その時間までであれば好きな所に行けます。ホストファミリーと出かけたり、SVEP の仲間と遊んだり、San Jose で知り合った人にどこかへ連れて行ってもらったりなど、いい経験ができました。

放課後の過ごし方

医学科1年 白石 仁

SVEP の研修中は、平日は 17 時まで授業があり、その後は各自でホームステイ先の家に帰ります。家に帰ってからはホストファミリーと一緒に夕食をとりテレビをみたり、色々な話をしたりしました。日本やアメリカの文化のことやお互いの家族のことについて話すことが多かったです。この放課後のホストファミリーとの日常的な会話によって英語力が相当身についたと思います。

また、僕の場合は大学への通学はバスと路面電車を利用して 30 分程かかりました。サンノゼ州立大学の学生は「Student Pass」というバスや路面電車が乗り放題のサービスが受けられたので、交通費はかからず、また帰る途中で電車でちょっと出かけて友達と映画をみたり、ショッピングに行ったりしました。キャンパス近くの学生寮では放課後にコーヒー・ナイトという留学生同士の交流会もあり、色々な国の学生と話ができ、英語の上達にもなりました。

放課後はアメリカの生活を堪能でき、英語の勉強にもなるとても充実した時間でした。

週末の過ごし方について

医学科1年 廣瀬 華子

このプログラムでは平日は授業やフィールドトリップがありましたが、週末の土曜日と日曜日は自由に過ごすことができます。私のホストファミリーの Lori と他の学生のホストファミリーをしている Linda が親戚だったので、私とルームメイトは、Linda の家にホームステイしている2人の SVEP のメンバーとよく週末を過ごしました。以下に第1週～第3週までを順に概略を紹介します。

第1週目は月曜日が Labor Day だったため、休日が3日間ありそれぞれ日帰りで行ける範囲にある場所へ行きました。Lori と Linda の家族と一緒にオークランドまで bart という電車に乗って野球を観戦しに行ったのはいい思い出です。その日は、ボストン・レッドソックスとオークランド・アスレックスの試合で、日本の野球とはまた違った雰囲気を楽しむことができました。試合は、20 対 2 で地元のアスレックスが勝ちました。またサンノゼにある Winchester Mystery House という幽霊屋敷を観光したり、Great America という遊園地へ遊びに行ったりもしました。

第2週目はヨセミテ国立公園に1泊2日で行きました。これは自分で計画したのではなく、SVEP を企画した九州大学カリフォルニアオフィスがアメリカの旅行会社に予約したバスツアーに参加した形となっています。参加者は SVEP メンバーのほとんどで、大人数でヨセミテバスツアーに参加しました。ヨセミテ国立公園に到着したときに目にした大陸独特の大自然は今まで見たことのないほど壮大なもので、視界には収まりきれないくらいの巨大な岩壁や滝、木々に圧倒されました。1日目はバスツアーにしたがって有名なセコイアや滝の数々を見て回りました。ヨセミテ国立公園内にあるホテルで1泊して、2日目は自由行動をしました。私は資料館や1日目では見られなかった滝を見に行きましたが、他にも自転車をレンタルしてヨセミテの大自然のなかをサイクリングで楽しむという人もいました。

第3週目は友人3人と計画して1泊2日の旅行を計画して、カリフォルニアディズニーランドへ行きました。サンノゼからディズニーランドのあるアナハイムまでは飛行機で移動するのですが、友人とホストマザーの Lori と一緒にホームページの画面いっぱいの英語に苦戦しながらアメリカの航空会社のチケットやホテルを予約したのはいい思い出です。SVEP も終盤まで差し掛かってきており、初対面ばかりだったメンバーともとても打ち解けて、そんな友人たちと本場のディズニーランドで最高の週末が過ごせました。

このプログラムでは授業はもちろん大切ですが、週末を利用してのアメリカの文化や自然に触れることも貴重な経験だと思います。また、週末は地元の人たちと交流する時間が大幅に増えるため、本場の英語を体験することもできました。

週末の過ごし方

医学科1年 山本 瑛裕

SVEP では3回週末があり、自由に過ごすことができました。ここでは僕が週末をどのように過ごしたかを、簡単に紹介します。

最初の週末は、友達と Caltrain という電車に乗ってサンフランシスコに行きました。そこではユニオンスクエアという、ダウンタウンの中心にある広場の周辺を歩き回っていろいろな店を見たり、食事したりしました。アウトレットではないので、値段は高いものも多かったですが、友達と楽しく過ごせました。

2度目の週末は、ヨセミテ国立公園へのバスツアーに参加しました。費用は宿泊費込みで約230ドル(約18,000円)でした。この年はSVEPの参加者45人全員が参加しました。ヨセミテ国立公園内には野生の動物がたくさんおり、友達とトレッキングして滝を見に行ったりしました。中にはサイクリングをしたりする人もいました。これまでに観たことが無い壮大な自然に囲まれて、このバスツアーに参加してよかったと思います。

3度目の週末は、電車ですぐ行ける Great Mall という名のアウトレットモールに行きました。かなりの数の店があるので、訪問する機会がある時は、一度ゆっくり見て回るといいと思います。会計の際に必ず "Everything is OK?" (本来であれば "Is everything OK?") のよ

うに、文法的には多少崩れたアメリカ英語らしい表現で声をかけられるなど、客に対する店員の接し方が日本と違うことが多いので、ぜひ買い物をしてみることをおすすめします。

週末の自由に過ごせる時間は、友達と出かけた一人りで散策してみたりして充実した週末を過ごし、とてもいい思い出になりました。

SVEP を経て変わったこと

医学科 1 年 横山 龍三

今回 SVEP に自分が参加した一番の理由は、受験英語から実用英語へ転換をするためであった。そのためには、やはりアメリカへの留学が、最も有効な手段に思えたのだ。しかし、今回の留学では、実用英語への転換という当初の目的以上に大切なことに気づかされた。それは、医学科の学生である自分にとっての留学の意味を問い直すことだった。

自分は、今回の SVEP に参加するまで、何となく留学はしておいたほうがいいものだという考えをしていたが、その考え方がいかに浅いかを実感した。医学科の学生である自分は、卒業後は医者となり、おそらくは国内で働くこととなる。そんな自分にとって、留学とは本当に有益なのだろうか。もし日本で医者として働くのなら、日本で学び、日本で多くの人とコネクションをつくることの方が大事なのではないか、ということを感じた。しかし、その一方で、もし自分が研究者の道を選ぶのならば、一つの選択肢としてアメリカへの留学は是非すべきだと感じた。

今回の SVEP を経て、自分は、将来自分が何をしたいのかということについて強く考えさせられた。それは、やはり直にアメリカにいて滞りし、現地の学生と交流したからこそである。SVEP での経験は今後の自分にとって、大きなターニングポイントとなるだろう。

留学全体を通して

医学科 1 年 山本 瑛裕

SVEP に参加して、伝えたくても英語で何と言ったらいいかわからない、という場面があったので、英会話の難しさを痛感しました。今回の研修を通して、アメリカ在住の友達ができ、彼らと英語でスムーズにコミュニケーションをとれるように、英語力をさらに磨きたいと思うようになりました。

SVEP 全体を通して、アメリカ滞在という住み慣れた日本を離れて初めて、日本人なのに日本について知らないことが多いことを恥ずかしい感情とともに痛感しました。アメリカにいる人からしてみれば、日本人は日本のことなら何でも知っているものだと認識するでしょう。日本に興味がある人ならば、側に居る日本人に色々尋ねてみたくなるかもしれません。それなのに日本人が日本のことについてあまり知らなければ、それは驚きであろうと思います。今回のアメリカ滞りで、日本について、特に、政治・経済・歴史などを、日本人としてき

ちんと知っておくべきだと思いました。また、SVEP 参加者には志が高い人が多く、既にアメリカの大学院に行くことを考えている人、アジアの国に交換留学することを具体的に考えている人など、学習への意欲にあふれていました。こういう SVEP の仲間には、本当にいい刺激を受けました。

また、アメリカで働いている日本人の方々の講義では、国外から見た日本の特徴についてそれぞれが話してくださいました。SVEP に参加するまでは、僕は他の国のことはおろか、日本のことにさえもある意味無関心でした。自分の将来のことだけを考えていけばいいと思っていましたが、一人の人間として、国際的な事柄にも関心を持ち、理解を深めていかなければならないと感じるようになりました。

SVEP を通して、単に海外旅行するだけでは得られない貴重な経験を得ました。この経験はこれからの人生設計に活かしていきたいと思います。

留学全体を通して

医学科1年 廣瀬 華子

この留学に参加した理由はまず英語力の向上のためでした。英語に囲まれた生活をして、英語力を上げられるのではないかと思ったためです。もう一つの理由は、アメリカの文化などに触れることで自分の視野を広げたいということでした。この1年の間に何かしようと思ったときにこの SVEP を勧められました。

SVEP のいいところは様々な学部の学生が参加していることです。工学部や経済学部、文学部など本当に色々な学部の学生が参加しており、同じ九州大学の学生でありながらあまり他学部と交流がない私にとってその人たちと話をするのはとても新鮮でした。

平日の授業も英語力別に分けられたクラスで受けることができ、実際英語を鍛えるのには効果的な授業だと思います。放課後には大学のイベントに参加することもあり、サンノゼ大学の学生と交流することができました。フィールドトリップでは有名な IT 企業や研究所を訪問し、特に医療用ロボットのダ・ヴィンチを製造している Intuitive Surgical 社の訪問では実際にダ・ヴィンチを操作させてもらうというめったにない体験をさせてもらいました。このような経験を通して、自分の視野は以前よりもぐんと広がったと思います。

また、ホストマザーの Lori や彼女の家族たちとの生活もこの留学での大きな経験になりました。彼女たちとの会話は初めて本格的にネイティブと会話をする私にはとても刺激的で、彼女たちのおかげで楽しい毎日を過ごすことができました。また Lori の孫たちとはゲームをしたり宿題をしたりと面白い体験をさせてもらいました。またおいしい料理をふるまってくれたり、週末の計画を一緒に練ってくれたりと本当に私達を気遣ってくれた Lori に感謝しています。

また SVEP を企画しているカルフォルニアオフィスの方のサポートも良く、授業の相談から買い物の相談までしてしまっただけです。所長やスタッフの人たちのサポートがなけ

ればこんなに充実した留学はなかったと思います。実際、この SVEP に参加してよかったと思います。アメリカに着いた当初は日本と全く違う環境に慣れずどうなることかと思っていましたが、新しく出会った友人や先生、ホストファミリーのみんなのおかげでとても充実した4週間が過ごせました。また、自分が思っていたよりもたくさんのことを体験できました。もちろん英語力をつけるという点でもこの留学はとても良かったです。一方で自分の英語力のなさを痛感でき、新たな目標を設けることができました。しかしそれだけでなく、大学生のうちに自分自身でアメリカの文化や技術に触れるというめったにない経験をこの留学ですることができました。

留学全体を通しての感想

医学科 1年 宮本 燎平

平成24年の8月25日から9月23日まで、シリコンバレーでの英語研修SVEPに参加してきました。九大カリフォルニアオフィスに斡旋してもらったホームステイ先に滞在をしながら、平日の昼間は現地の大学で用意された英語研修のプログラムをこなしたりフィールドトリップに出かけたり、アフタースクールと休日は完全にフリーで、自分たちで計画を立てて遊んだり外出したり、といった内容でした。

英語研修プログラムでは、accent training、effective presentation、speaking and listening、campus eventsの4種類のクラスがあり、それぞれ現地の先生が担当します。Accent trainingではアクセントの矯正だけでなく、発音そのものを舌の位置などを参照しつつ直していきました。effective presentationは読んで字のごとく、伝わるプレゼンテーションに関する技法を習得しようという授業で、最初の授業を除き毎回プレゼンを用意して授業で発表するというものでした。そしてこのクラスの最後の授業ではfinal presentationということで参加者全員が一人一つずつプレゼンを行いました。speaking and listeningでは、様々なディスカッションを通して英語での討論に慣れ親しみ、筋の通った強い主張ができるようになるというものでした。Campus eventsでは、与えられた様々なテーマに関して聞き込み調査をしたり、美術館に行ったりと教室の外での学習でした。

アフタースクールでは本当に様々なことができました。僕はサンノゼ郊外にあるグレートモールに何度も足を運びましたが、サンフランシスコに行った人や、週末の2日間全てを使ってロサンゼルスディズニーランドに遊びにいった人、アメフトやメジャーリーグの試合を見に行った人など様々でした。現地で出会った友達に、色々なところに連れて行ってもらった人もいたようです。アメリカで一番人気のスポーツであるアメフトの試合観戦は特におすすめです！本場アメリカでサンフランシスコ 49ers を応援するというのはものすごく楽しかったし、行く道中でのバスやスタジアム内の売り子さんたちとおしゃべりも貴重な体験となりました。僕の観戦した試合では地元チームのサンフランシスコ 49ers がデトロイトライオンズに大勝し、スタジアム全体が大いに盛り上がりました。驚くべきは次の日もサンフランシスコ・サンノゼではお祭り状態だったということです。

今回参加したプログラム全体を通して、英語に対する恐怖心を取り除くことができたのが最大の収穫だと思います。日本に帰ってきて英語だからといって嫌厭することなく、逆に楽しんで英語に触れることができるようになったと胸を張って言えます。医学部生の仲間にも SVEP を通して、英語に親しみを持ち、日本を遠く離れた異国の地で貴重な体験をしてきてください！と伝えたいです。

留学全体を通して

保健学科 看護学専攻2年 松田 彩香

私は世界観を広げたいという理由で留学をしたいと考えていました。SVEP に参加した先輩の話聞き、SVEP では様々な経験ができると思い参加を決意しました。参加するまでは英語に関して、大きな不安を持っていました。というのも、今まで、海外には旅行でしか行った事がなく、英語を使い生活をするという事がなかったからです。しかし、授業を受け、多くの人と会話をしているうちにその不安は払拭されていきました。英語の能力を向上させることはもちろん大切ですが、自分の考えや意見を持ち、伝えるという姿勢、コミュニケーションをとろうという姿勢が大切だということに気が付きました。

留学中は授業での英語の学習はもちろん、Field Trip でアメリカの企業を訪問する機会、起業について知る機会が多くありました。そこで、日本の企業との違いやアメリカという競争社会で働く事について知ることが出来ました。日本に帰ってきてから、医療に関しても、海外ではどのようなものかという事に興味を持つようになったことは大きな変化だと思います。日本と海外のどちらが良いという事ではなく、様々な技術や方法があり、それを知り、学ぶことが重要だという事に気付かされました。

また、留学を通して多くの出会いがありました。ホストマザーの Linda とは会話を通して、英語力を磨くことができ、アメリカ文化を学ぶことができました。Linda と彼女の家族と過ごした1 か月はかけがえのない経験です。そして、SVEP に参加したメンバーとの出会いも財産だと思います。SVEP に参加したメンバーが、留学を通して得たものをその後につなげようとしていることは、私にとって大きな刺激となっています。積極的に英語を使うイベントに参加したり、新たな留学に参加することを決めたり、それぞれの方法で努力をしている姿を見ることは、私の英語や海外への思いに関するモチベーションを上げるきっかけとなっています。

SVEP に参加することができたことに誇りを持っています。このような機会を設けてくださった九州大学カリフォルニアオフィス所長の松尾さん、ホールさん、留学を通して出会った Linda や SVEP メンバーをはじめ多くの方々に感謝しています。この経験を看護という目に見える形ではなくとも、これから活かしていきたいです。今後も SVEP に多くの学生が参加し、貴重な経験をすることができることを願っています。



San Jose 州立大学



到着時の集合写真



B Class のみんなと



C Class のみんなと



特別講義 (Dr.d'Alarcao) の様子



Field Trip おける Intel 訪問



ORACLE への Field Trip



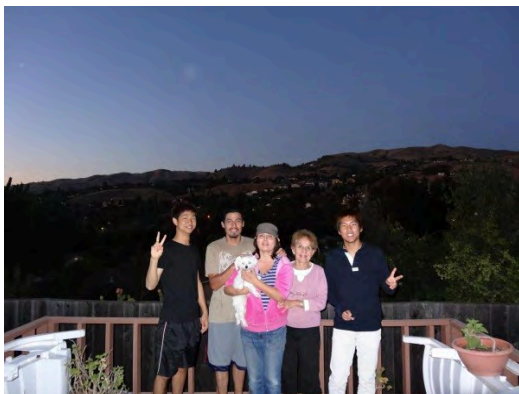
手術支援ロボット da Vinci



ヨセミテ国立公園の滝の前で



ヨセミテ国立公園にて



ホストファミリーとバルコニーにて



ホストファミリーと



ホストファミリーとの野球観戦にて



ディズニーランド旅行



ディズニーランドにて



誕生日パーティー
(菊地さん・杉本さん・川口さん・橋本さん)



学校内の売店にて



大学でジャンプ

About San Jose

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine,
Ryohei Miyamoto

In SVEP, we spent most of our days in San Jose, which is located to the south of San Francisco on the West Coast of the U.S. It's much colder in summer than Japan with a temperature around about 10°C and doesn't change dramatically. So it's better to bring some warm items when you will visit there! Moreover we did not have rainy days at all. I was amazed at what a nice place it is to live! You can use buses and trains for free as a college student there. I advise you to use this advantage fully and go to any spots you want to see, for example, shopping and the stadiums of San Francisco Giants and 49ers teams.

San Jose State University

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Jin Shiraishi

We joined the program of learning English, which was held by the California Office of Kyushu University and we had classes in San Jose State University (SJSU) for a month. SJSU was established in 1857. The campus faces San Jose downtown and there are a lot of shops and restaurants around the campus. There are many students in SJSU, not only American students, but also the international students who came from various countries such as Europe and Asia. The campus itself is large and beautiful and offers us a good learning environment. At SJSU, there are also many events held by students, for example, Coffee Night, which is an event where international students communicate with each other, and Sports Events including soccer, golf, and football. I joined various events and I could make many friends. Students at SJSU are mostly friendly, so when we tried to interview them as a part of the class, everyone answered willingly.

SJSU is a good place to learn English, and many events organized by students are held frequently, so I could spend the whole month without ever being bored.

Lectures in America

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Ryuzo Yokoyama

In America, I learned about speaking, listening and presentation skills in English. The lecture about presentation skills was the most impressive for me among all the lectures I took. In Japan, I have never learned about how to present in English. Therefore, it was

really fortunate that I could learn about it. In America, I gave presentations twice. I felt my presentations became interesting and easy to understand after taking the class.

The difference between American lectures and Japanese ones is impressive. In Japanese lectures, teachers speak the contents of lecture and students only take notes on the lecture. There is no communication between teachers and students. However, in American lectures, teachers express their opinions to students a lot based on their thinking, so teachers develop the lecture by interacting with students during the class. Because teachers always demand their students to express their thinking, students are forced to have their own opinion. I can't decide which way is better, but I think interaction between teachers and students is needed to improve classes in Japan.

About the SVEP classes

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine,
Ryohei Miyamoto

In SVEP, we went to school from Monday to Friday. Mainly we spent all morning speaking with students there about different topics; to read a book aloud and discuss what we thought about it, to make a story whose sentences were contributed by each participant and so on. In the afternoon, we had two classes for 110 minutes. We learned ACCENT TRAINING, EFFECTIVE PRESENTATION, CAMPUS COMMUNITY and SPEAKING & LISTENING; we took two of these classes each day. The former two were just as the title suggests, but the latter ones were unique. In CAMPUS COMMUNITY, we went out of the classroom and did tasks that our teacher gave us. In SPEAKING & LISTENING, we, that included our teacher, talked about a very wide range of topics. Moreover one day of each week, usually Friday, we had a school trip tour to the companies in the San Jose area, for example, Google, Yahoo! and so on.

The field trip

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Hanako Hirose

Known by the name of Silicon Valley, various companies and laboratories have gathered in San Jose. I visited companies, universities and laboratories on field trips once a week when I attended SVEP.

We not only visited ICT-related companies, such as Yahoo!, Google, and Oracle Intel Museum, but also companies that communicate with investors and entrepreneurs such

as Plug and Play Tech Center. When we went to Yahoo!, Google, and Oracle, the Japanese engineers actually working there guided us through the companies directly, and told us interesting stories about their lives and the companies.

There were many field trips related to engineering, which I myself was not familiar to. It was difficult for me to understand what they said, but the field trip was so memorable because I learned about the advanced professional environment unique to Silicon Valley, where many companies and research institutes have gathered.

What I was most impressed with was visiting the company Intuitive Surgical. The company has been developing Da Vinci®, robotic surgical support system, and one of the systems had been introduced in Kyushu University Hospital. We were able to have a very valuable experience as future medical professionals, not only visiting the manufacturing process of the robot, but also experiencing actual operations.

About Field Trip

2nd grade, Department of Health Science, School of Medicine
Ayaka Matsuda

San Jose is called Silicon Valley and there are many companies such as Apple, Yahoo and Google, which greatly influence today's world. In the Field Trip program, we had many opportunities to visit these companies and to learn about entrepreneurship and the climate of the American companies. For a month, we can see and hear about corporations which may develop world-wide activities in the future. We also learned about the tendency to consider one's ability very important and the hardship for Japanese to work in America. The most impressive company visit to me was the observation at Intuitive Surgical. This company manufactures the medical robot named "da Vinci". The number of hospitals which introduced da Vinci in Japan has been growing and the name of Kyushu University is at the head of its list as the first university hospital operating with the system. I could experience the most advanced medical in California. I could understand the huge progress of medical techniques and their markets, and these two are intermingled in San Jose. These experiences were really valuable for me. I understood that it's important that I have an international point of view.

After School

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Akihiro Yamamoto

On weekdays, we had classes until 5 p.m., and after that we could spend our time as we liked. I would like to introduce briefly what I usually did after school.

In San Jose State University, there is a building called Student Union. This would be equivalent to the co-op in Kyushu University. After school I often spent free time bowling and playing billiards, or looking for souvenirs for my friends in Japan. It was a key chain that my friend liked best among my souvenirs. My friend liked the key chain because it is characteristic of the locality and has “San Francisco” and a picture on it. There are also a library and a pool on the campus and some theaters and restaurants near the campus, so we could enjoy free time near the university. Although I did not watch movies, my friend said that watching a movie with English subtitles was good practice for listening to English. At the nearby restaurant, Flames, they served such a big steak that we cannot get in Japan, so I would like to recommend visitors try the lunch menu at Flames.

On Tuesdays, a social gathering with other international students called Coffee Night was held at International House, which is a dormitory for international students. Any students can attend this event for free, so I joined it after school every Tuesday. It was a great chance and fun to experience different types of English with a variety of accents since international students came from various countries.

We can go anywhere as long as we were sure to come back home by the closing time. I had really nice experiences such as going out with my host family. I also enjoyed having good times with my friends who attended the SVEP as well as the friends I met in San Jose.

What we did after school

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Jin Shiraishi

During our time at SVEP, we had classes until 5 p.m. on weekdays, and after that we went to our host family's home. At home, we had dinner, watched TV and talked about various things with our host family every day. We talked about Japanese and American culture and about the topics of each family. I think this daily communication with my host family helped a lot for improving my English skills.

In my case, it took about thirty minutes to go to the college by bus and light rail. Students at San Jose State University could have ‘Student Pass’. We can ride the light rail and bus for free with the Pass, so we don't have to worry about paying any transportation expenses. And on my way to home, I watched movies and went shopping with my friends. In the student dorm near the college, an after school event called ‘Coffee Night’ was held.

This is a kind of party encouraging exchange among international students. I could talk with students from various countries, and I feel I could improve my English skills there.

After school was a very good time when I enjoyed American life and could improve my English skills.

How I spent my weekends

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine

Hanako Hirose

In the SVEP program I attended, there were lectures and field trips on weekdays, and I could freely enjoy the weekend, Saturday and Sunday. Since Linda, a host mother of the other students, and Lori, our host mother, were relatives, my roommate and I spent the weekends with the other two members of SVEP that stayed with Linda. Here, I would like to turn to an overview from the first week to the third week.

In the first week, since Monday was Labor Day holiday, we had three consecutive days off. On that Saturday, we went to watch a baseball game by train called 'Bart' with the families of Linda and Lori. The game was between the Oakland Athletics and Boston Red Sox and I enjoyed a different atmosphere from that of Japanese baseball games. Athletics won the game 20 to 2. The next day, Sunday, we explored the haunted house called Winchester Mystery House in San Jose, and the following Monday I went to the Great America amusement park.

In the second week I spent two days and one night in the nature of Yosemite National Park. Please note that this was not a plan on my own, but a bus tour that California Office Kyushu University arranged. Most of the SVEP members took part in the Yosemite bus tour. The nature I experienced when I arrived in Yosemite National Park was something magnificent I had never seen before. Since the waterfalls, rock walls, and trees were so gigantic, they overwhelmed me. On the first day we saw many of the famous waterfalls and Sequoia in accordance with the prearranged plan and stayed in a hotel located in Yosemite National Park. On the second day we had free time. I went to see the waterfall that I did not visit on the first day as well as the museum. Some students enjoyed cycling among the wilderness of Yosemite by renting bicycles.

I planned a trip to Disneyland California with three friends for the third week. I made a reservation for the hotel and tickets for airlines, while struggling to comprehend the English on the home page along with Lori and my friends. I enjoyed Disneyland with my classmates as I approached the end of SVEP.

I think in this program the lessons were very important, of course, but also the

weekends gave me a valuable experience to commune with nature and the culture of the United States. In addition, since the weekend was my time to mingle with locals, I was also able to experience authentic English.

Weekends

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Akihiro Yamamoto

In SVEP, we had three weekends and could spend the time as we wished. I would like to introduce what I did on the weekends.

On the first weekend, I went to San Francisco by a train called Caltrain with my friends. We walked around Union Square, which is located in the center of the downtown, and went to some shops and had lunch there. Since the shops in Union Square were not outlet stores, the price of many of the goods was expensive, but we had a good time there.

On the second weekend, I joined a bus tour to Yosemite National Park. It cost about 230 dollars, including lodging charges. All of the SVEP members joined this tour. In Yosemite National Park, there were many kinds of wild animals, such as deer and squirrels. We could enjoy the park by going trekking to a waterfall or cycling.

On the third weekend, I went to an outlet mall that I could go to quickly by train. There are a great number of shops, so I really recommend to the visitors to go shopping there. It is called Great Mall.

I spent my weekends going out with my friends or by myself, and it is a nice memory of my time in San Jose.

What I got after spending time with my host family

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine
Ryuzo Yokoyama

In this SVEP, I experienced a home stay for the first time. What made me surprised first after meeting my host family was that my host family is Spanish. My host family could speak English fluently so we communicated with each other by broken English. At first, I thought staying with Spanish speakers could not improve my English skill but now I am satisfied with this home stay as I could notice speaking English is the only way for communication. Not only body language but also communicating with the aid of iPad was very useful. When I would like to tell about Japanese culture, I showed pictures on the screen of Web sites by using iPad. This is how I could tell him/her briefer and clearer

explanations on the topics. In addition, I am sure that I improved my English skill.

I experienced American culture with my host family. It helped me to have an objective viewpoint to contrast with Japanese culture. This experience will be useful when I communicate with people from other countries in the future.

About Host Family

2nd grade, Department of Health Science, School of Medicine

Ayaka Matsuda

In SVEP, I met many people. Especially, meeting my host family affected me a lot. My host family was Linda and her daughter, Ashley. At first, I was worried about staying with them for a month. However, my worries disappeared because Linda was so friendly to me.

During my stay in California for a month, I could experience American culture and speak English a lot. It was hard to communicate in English at first, so I felt very irritated. However, Linda kindly listened to my poor English and tried to understand my opinion. It was good practice for me to speak with Linda on many occasions. Through conversations with Linda, I learned American culture as well as Japanese culture. An ancestor of her husband is Japanese, so she and her children were interested in Japan and I was often asked about Japan. When I understood the differences between America and Japan, I realized that I did not understand my mother country, Japan. Before understanding different cultures, I need to understand my mother country.

Thanks to my host family, living in America became better and I could learn and could realize a lot of things. I was glad to hear when Linda said to me “You are the same as my daughter.” I thought it was fortunate to meet her. I deeply appreciate Linda and her family.

Personal impression on this program

1st grade, Department of Medicine, School of Medicine

Hanako Hirose

I participated in SVEP since I would like to improve my English skills and broaden my own view by being exposed to the culture of America. This program was recommended to me when I wanted to do something last year.

A good point of SVEP is that the students from various schools of Kyushu University participated in the program, such as Engineering, Economics, and Letters. It was

really refreshing for me to talk with them since I do not have much interaction with the Kyushu University students in other schools.

The SVEP members took the classes on weekdays after being divided into three groups based on our English skills. The way of learning English there was very effective to strengthen my English. After school I participated in an event at San Jose State University. I was able to interact with students at the University. Also, on the field trip, I visited famous ICT companies and their laboratories. The company Intuitive Surgical was very interesting since I got to try manipulating the surgical robotic system; da Vinci, which is made at the company. Through this experience, I think my own view was broadened.

In addition, the life with my host mother Lori and her family was really a great experience in this program. Conversations with them were so exciting because I had never spoken with a native English speaker before. The family made the days in San Jose very fun as I did my homework or played games with Lori's grandchildren. I am grateful to Lori that she really cared about me, cooked me good food and made plans for the weekend also.

The support of the California office was so helpful and reliable that I consulted them about the classes and shopping. I would not have been able to study so well without the full support from the director, Dr. Matsuo, and his staff.

In fact, I'm glad to have participated in this program. When I reached the United States I was afraid of what would happen to me because I am not familiar with the environment in America which is entirely different from that of Japan. However, I could enjoy the four weeks very much thanks to the new teachers and friends and host family I met through this program. Also, I was able to experience a lot more things than I had expected. The study was so nice, not only because I could improve my English skills, but also because I became acutely aware of my lack of English skills, providing a new target. I was able to touch the culture and the technology of the United States on my own in the college, which would be very difficult for Japanese students without attending the SVEP.

Impression through SVEP

2nd grade, Department of Health Science, School of Medicine
Ayaka Matsuda

In order to broaden my outlook, I wanted to study abroad. A member who had participated in SVEP the previous year told me about SVEP. Then I decided to take part in SVEP. Before I visited America, I worried about studying abroad. Before joining this program, I had been abroad only to travel to some spots and I had never had the opportunity of speaking English to live. However, my worries gradually disappeared. What I learned not

only improved my skill of English but also helped me to have my own opinion through communication .

I had many opportunities not only to study English but also to visit American corporations on field trips. I could find how the American companies have social competition among them. It is a remarkable change in me that I have become interested in foreign medical treatment.

In SVEP, I had many chances to communicate with my host mother, Linda. It was good practice to speak English with her and learn American culture. It was also a good experience to live with her family. Moreover, my time with the members of SVEP was also a valuable asset for me. It was a chance to get motivated to study English and study abroad in the future.

I take pride in my participation with SVEP. I appreciate many people, including –the head of the California Office of Kyusyu University Office, Mr. Matsuo, and his staff, Ms. Hall, Linda and members of SVEP. I want to make use of these experiences for my future career. I hope that many students of Kyushu University will take part in SVEP in the future and I’ m sure that they will be able to have a good experience.

Acknowledgment:

We all students would like to thank Ms. Christine Kuramoto for her comments on our manuscripts.

How to get in touch with friends in Japan, using the Internet

Hanako Hirose

Three ways

- *Speaking Skype
- *Writing PC e-mail
- *Chatting Facebook

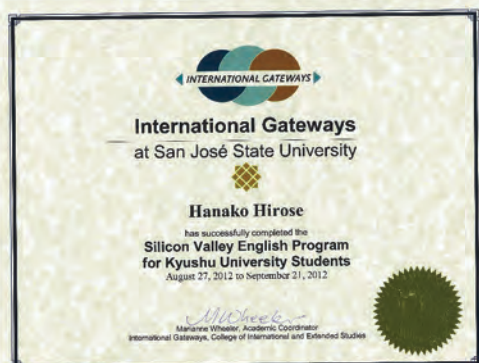
Speaking

Writing

- * voice
- * Easy to converse
- * The difference in time
- * no voice
- * Difficult to converse
- * Not have to care about time
- * Can show pictures

Chatting

- * No voice (Writing)
- * Easy to converse (Speaking)
- * The difference of time (Speaking)



廣瀬華子さんのコース修了証

The “United” State Of America

Ayaka Matsuda

1. What I was deeply impressed in the U.S.

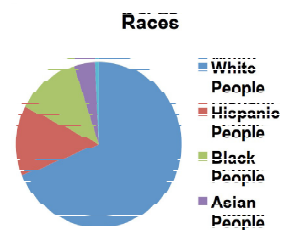
2. What I think of the U.S culture.

What I was deeply impressed in the U.S.

1.They do not bow.

2.They assert their own opinion.

What I think of the U.S culture.



There are many subculture

2006 American Community Survey

Conclusion

•The subculture forms the basis of American culture.

America is the “**United**” state.

シリコンバレー英語研修プログラム

基礎放射線医学分野 續 輝久
(特別会員)

はじめに

平成19年度にモントレー国際学院（語学専門大学）Monterey Institute of International Studiesでの語学研修として始まった「九大生のためのビジネス英語&理工系英語サマースクール」に平成20年度から医学部の学生が参加するようになり、平成21年度には研修場所を九州大学の交流協定締結校であるサンノゼ州立大学San Jose State Universityに移し、名称も新たに「シリコンバレー英語研修プログラム（SVEP）」となった。サンノゼ州立大学は1857年にカリフォルニア師範学校として設立された伝統校であり、世界の技術の最先端に行くシリコンバレーという恵まれた環境を活かし、シリコンバレーに集結する多くのベンチャー企業等に優秀な人材を供給している優れた大学である。

新たな「シリコンバレー英語研修プログラム」の3年目である平成23年度は医学科1年生3名、2年生1名の合計4名、生命科学科2年生2名、保健学科2年生2名が参加した。学習内容はチュートリアル方式を取り入れた実務英語の学習であり、授業期間は夏休みを利用して、平成23年8月22日（月）～9月16日（金）の4週間に渡って実施された。例年通り参加した学生全員による「報告書」を作成中であるが、現時点でこの研修を通しての感想文を寄せてきた2年生の4名の分を今回「学士鍋」に寄稿することになった。医学部同窓会にはこれまで継続的に財政的な支援をいただいております、感謝の意を表すると共に、学生達の活動報告としたい。

最後に海外での人種や国を越えた愛情を感じる語学研修を実施していただいている九州大学カリフォルニアオフィスの松尾所長、アドバイザーの皆さん、国際交流部の方々、また、今回の米国でのホストファミリーに厚く感謝申し上げます。

研修を通して

医学科2年 竹原侑里

私は一年生の時からこのSVEP研修のことを知っていたので、募集が始まったらすぐに応募しよう！と思っていました。確かに、費用は気軽に行けるような額ではないし、一か月の留学で果たして意味があるのか…など悩むところもありました。それに、研修に参加しなくても英語を学ぶ方法はあると思います。ただ、参加しと言えることは、「この研修に参加して本当に良かった」ということです。迷っているなら、

是非参加してほしいです。

まず、研修を通して実感したのは一か月で英語力は伸びる、ということです。やはり、現地で実際に使った英語は日本での座学の英語よりもしっかりと身につきます。ただ、「せっかく行くならできる限り英語力を伸ばしたい！」と私は思っていたので、自分からできるだけチャンスを作ったり、苦手なポイント（発音、SVOの順序など）を意識しながら話したりすることを心がけていました。毎日の小さい目標を立てて実行し、成功すれば喜んでみたり、逆に全く上手くいかず落ち込んだりしながら毎日奮闘し

ていたような気がします。また、大学での勉強が学年進行とともに専門に進むにつれ、なかなか英語だけを勉強するという時間をとるのが難しくなっていくように感じていたので、今回の研修期間中は、ここぞ、と言うばかりに英語だらけの生活を楽しみました。

SVEP研修に参加して英語に対する姿勢で一番変わったのは「発音」です。正直なところ、研修の終りがけまで「とにかく意味が通じればいいや」というスタンスだったので、なんとなくの発音でやり通してきました。しかし、ある先生にそれを話すと「発音が上手いかどうかも大切だよ。発音が上手いと相手を最初から聴く姿勢にできるから」と言われました。また、一緒に行った友達や他の国の留学生の発音を聴いていて刺激されたのも理由の一つです。英語でのコミュニケーションで大切なのは、「広い視野を持って自分の意見を考えること」であり、それを英語にできるかどうかだ、という従来からの私の考えは変わりません。しかし、発音も相手とコミュニケーションをとる手段の一つなのだのと痛感する良い体験になりました。

研修の中で一番英語を話したのはホストファミリーと過ごした時間でしたが、現地でできた友人と遊んだ時も、また違った話題を沢山話しました。英語を話すために会話をするのではなく、楽しいから、気持ちを伝えたいから英語を話す、という体験を初めてできたのは本当に大きかったです。また、この研修で出会った同じ九大から参加したメンバーで帰国後も繋がっていることも研修で得た財産の一つだと思います。英語の勉強会や、留学生と話せる機会の情報を今でもシェアしています。研修に行く前には全く気付かなかった「英語を話すチャンス」が、やろうとすればこんなに見つけれられるのかと驚きました。研修に参加した学生の中にはもう次の研修や海外旅行へ行っている人もいて、刺激し合える仲間との出会いは予想以上に自分の英語学習へのモチベーションを上げていることを感じています。

この研修を準備し、様々な企業や団体と交渉してくださった九州大学の方々には本当に感謝しています。特に、現地で私達を歓迎してくださったカリフォルニアオフィスの松尾所長や大坪さん、出国から帰国まで50人以上の大所帯をまとめてくださった姜さん、研修のための準備・連絡をしてくださった古賀さんを始めとする国際交流部の方々、そして昨年に引き続き沢山の支援をして下さった医学部同窓会の方々には本当にお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。このような素晴らしい研修がこれからも末長く発展して、より多くの学生に感動経験を与え続けていくことを心より願っております。

留学全体を通しての感想

生命科学科2年 竹田昂典

1年生の時に先輩方の作成されたSVEPの報告書を読んでこのプログラムに興味を持ちました。その後、多くの方々の海外での経験を伺ううちに、徐々に自分の中で私も実際に海外で生活してみたいという思いが強くなり、英語をもっと使いこなせるようになりたいという思いも相まって参加することを決めました。1ヶ月の海外生活を終え、1年生の時に配布された報告書を今度は自分が作成する番になり、改めて振り返ってみると、参加して良かったと思える程新鮮で充実した毎日を送ることができたと思います。

SVEPは短期語学留学プログラムであり、文字通り英語のスキルアップを目的としたプログラムですが、実際に参加して現地で生活することで、英語のスキル以外にも様々なことを学ぶことができました。私の場合最も実感できて良かったと思うことは「英語を使う」ということでした。私は中学生で英語を学び始め、高校や大学の入学受験でも試験科目として学習に取り組んできました。そのためか、英語は実際に使

用するものではなく日本で勉強を続けていく上で必要なものという考えが私の意識のどこかにありました。ところがSVEPに参加し、実際にサンノゼで生活するようになって、私のこの捉え方はおかしいものであると気づきました。そこに住む人々にとって英語は生活していく上で必要なものであり、必要不可欠なものです。当然英語は生きていく上で必要なツールという考えのない私は、この捉え方のギャップに戸惑い、英語を使ってコミュニケーションをとることがうまくできず苦勞しました。相手の話す言葉が聞き取れない、頭の中で文章を作ってから話すことがうまくできず時間がかかる。あまりにも歯がゆくて、正直留学直後は何度ももどかしい思いをしましたし、夜になり自分に割り当てられた部屋に戻ると、とてつもない疲労感に襲われました。それでも日がたつにつれ、だんだんと慣れて何とか自分の意志を相手にうまく伝えることはできるようになっていきました。一度「英語を使う」ということが分かると、今度は英語で現地の人々と交流することが楽しく感じられるようになりました。英語を使って店で商品を購入したり、教師の方々や他の留学生と話をしたりすることができることがたまたまなく嬉しく感じました。よく考えれば英語を使うということは当たり前のことかもしれませんが、このことを実感として得られたことは大きいと思います。

他にも様々な経験をし、様々なことを得ることができました。海外に行ってみたい、英語のスキルをもっと向上させたいという思いを持っている方には参加をお勧めします。

このような素晴らしい体験をすることができたのは、多くの方々のおかげだと思っています。最後になりましたが、私達参加者のために尽力してくださった九州大学カリフォルニアオフィスの松尾所長並びに大坪さん、国際交流部の方々、資金的援助をして下さった日本学生支援機構及び医学部同窓会の皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

松尾所長のお話によれば、参加者の人数は年々増加しているそうです。今後この短期語学研修プログラムがさらなる発展を遂げ、さらに多くの学生が、私達が得たものと同じ素晴らしい経験をするを願っています。

留学全体を通しての感想

保健学科2年 松浦保奈美

この夏、SVEPに参加して、本当に充実した1ヶ月間を過ごす事ができました。これまで海外に行った経験が無い私にとっては、日本から出るというだけで不安でいっぱいでした。また留学前は、パスポートの申請など初めての事が多く、分からない事ばかりでした。しかし、帰る頃には「まだSan Joseにいたい」と思うほどにまでなっていました。それは、ホストファミリーやSALの先生方、九大カリフォルニアオフィスの松尾所長や大坪さん、そして一緒にこの留学に参加した仲間のお陰であり、本当に感謝しています。ありがとうございます。

留学中は、平日のSALでの授業では、プレゼンテーションや英会話などについて学ぶ事ができました。九大でこれまでに受けてきた授業とは全く異なり少人数で行われており、先生とのコミュニケーションもとやすく、一つ一つの授業を理解して進める事ができたと思います。内容も授業ごとに特色があり、工夫されていたので楽しく参加できました。また、Frankly Speakingで少しの単語だけでも思ったことや自分の事について英語で話す事によって、日常会話の中で英語を躊躇なく口に出すことができるようになったと思います。レクチャーでは生体防御学や病原体学の授業で習ったばかりの内容もあり、英語で行われたにもかかわらず理解できました。またそれと同時に、英語を習得すれば自分の知識を日本だけではなくアメリカやその他の国々においても活かす事ができるということに気付きました。そして、毎週金曜日に行

われていたフィールドトリップでは、シリコンバレーの様々な有名企業を訪問しましたが、Plug and Playを訪問したことが私の中では特に印象に残っています。この企業の中で働かれている方々は皆、希望や誇りを持っているようで、目が輝いているようにも見えました。また、それと同時にその方々を羨ましくも思いました。この訪問は、自分の将来について改めて考え直す良い機会となりました。そして週末にはホストファミリーにサンフランシスコに連れて行ってもらったり、自分たちで旅行に参加したりしました。このような経験を通して交友を深めたり、アメリカを始め異国の文化に触れたりすることができました。

日々の生活の中で、様々な人たちと出会い、自分とは異なる考え方に触れる事ができて、英語はもちろんのこと、英語以外のこともたくさん学びました。私は、将来看護師として発展途上国で働きたいとっていて、その為に海外での生活に慣れることを目標にこのSVEPに参加しました。今ではその目標以上のものをこのSVEPに参加した事で得られたと思っています。そして何より海外へ行くことへの不安が無くなったことが、将来の夢実現への大きな一歩となりました。

SVEPに参加して

保健学科2年 村田弓香

小さい頃（小学1～3年生の頃）私は父親の仕事の関係でカリフォルニアに住んでいたことがあり、中学生の頃からカリフォルニアにまた行ってみたいという気持ちがありました。機会に恵まれず今まで行くことができませんでした。大学に入って何気なく留学情報をみた時、SVEP（シリコンバレー英語研修プログラム）というプログラムを見つけました。その時はもう締め切りに間に合いませんでしたが、今回、2年生で参加することができました。

このプログラムはホームステイということで、家はきれいなのか、食事は口に合うか、などの不安はたくさんありました。実際は、ホストファミリーはとても優しく、家もホストマザーが綺麗好きだったため私の家よりもはるかに綺麗でとても過ごしやすかったです。食事もおいしく、たまに日本食をつくってくださることもありました。週末はホストファミリーと一緒にサンフランシスコまで出かけたり、遊園地に行ったり、買い物につきあってもらったり、とても楽しい時間を一緒に過ごすことができました。そのため最終日の別れの朝はつらく、何とお礼をいったら十分に伝わるか分からず”

Thank you for everything”とだけ言って、ハグをして別れました。ホストファミリーとは帰国後も何度かメールで連絡をとりあっています。

授業では、私が参加したクラスは私より学年が上の方が多かったため、初めは緊張しましたが、先輩方は皆優しく陽気で、すぐ馴染むことができました。さらに皆、とても積極的で自分の考えをしっかりと持っている人ばかりだったので、いい刺激になりました。普段、自分の意見をあまりもたない私にとって日々の授業は大変でしたが、“考える”ということを経験できた。また、いま大学生の私が考えていることを英語にする難しさも学びました。日常生活における英語はできても、授業で話す英語はつまることが多々ありました。英語ができて当たり前時代の時代、英会話ができるだけでは十分ではなく、英語でのもっとレベルの高い会話能力の必要性を感じました。

また、毎週金曜日に行われていたフィールドトリップでの企業訪問で得たものは大きかったです。大きな夢をもって起業を目指す人や医師をやめてビジネスを始めようとしている人など、様々な人の話を聞くことができました。私は、自分の進む道を決めてからは他の職業について興味をもって知ろうとすることはなかったので、今回様々な人の話を伺うことができたことはとても新鮮で、自分の視野が広がったよう

● 学生のページ

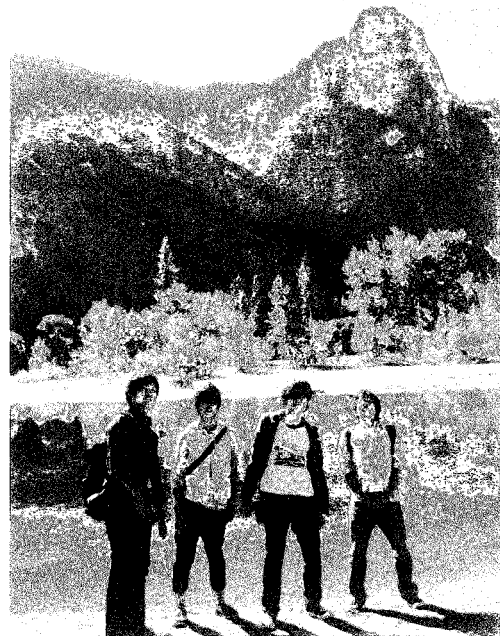
にも思えます。自分だけでは絶対に聞くことのできない話を、今回の語学研修に参加することでたくさん聞けるいい機会をいただきました。

今回この語学研修プログラムにカリフォルニアにもう一度行きたいという動機だけで参加しましたが、実際に参加して大きなおまけがたく

さんついてきました。たくさんのことを学び、一ヶ月という短い期間で大きく成長できたと実感しています。多くの貴重な体験を得ることができたこのプログラムに関与した方々、本当にありがとうございました。



研修のクラスメートと一緒に



ヨセミテ国立公園にて



ホストファミリーに感謝の気持ちを伝えるために作った筑前煮



授業風景

あとがき

平成 19 年度にモンレー国際学院 Monterey Institute of International Studies での語学研修として始まった「九大生のためのビジネス英語 & 理工系英語サマースクール」に、平成 20 年度から医学部の学生が参加するようになり、平成 21 年度には研修場所を九州大学の交流協定締結校であるサンノゼ州立大学 San Jose State University に移し、名称も新たに「シリコンバレー英語研修プログラム(SVEP)」となった。サンノゼ州立大学は 1857 年にカリフォルニア師範学校として設立された伝統校であり、世界の技術の最先端に行くシリコンバレーという恵まれた環境を活かし、シリコンバレーに集結する多くのベンチャー企業等に優秀な人材を供給している優れた大学である。

SVEP として再スタートして 4 年目にあたる平成 24 年度は、医学科 1 年生 5 名、保健学科 2 年生 1 名の合計 6 名が医学部から参加した。学習内容はチュートリアル方式を取り入れた実務英語の学習であり、授業期間は夏休みを利用して、平成 24(2012)年 8 月 27 日(月)～9 月 21 日(金)の 4 週間に渡って実施された。例年通り参加した学生全員による「報告書」を作成中、一部の原稿を「報告書」の完成に先だって医学部同窓会誌「学士鍋」に寄稿し、第 166 号(平成 25 年 3 月 20 日発行)に掲載された(pp.74～79)。医学部同窓会にはこれまで継続的に財政的な支援をいただいております、改めて感謝の意を表したい。

最後に、海外での人種や国を越えた愛情を感じる語学研修を実施していただいている九州大学カリフォルニアオフィスの松尾所長、アドバイザーの皆さん、国際交流部の方々、医学部学生係職員の方、また、今回の米国でのホストファミリーに厚く感謝申し上げます。

参考までに、「JSPS ニューズレター Vol.27(JSPS サンフランシスコ研究連絡センター)」で配信された記事の一部(SVEP への参加がもたらした学生への効果)を英文のまま紹介します。

As a result of these carefully executed programs, we have obtained fantastic feed-back from students. We noticed that, in general, students did not clearly recognize their progress from the English program itself, but almost all students told us that the obstacles or walls to speak to foreign persons have come down. Some students even said that they made great progress by having many occasions to converse with their host families. Judging from the final presentation, however, we believe that almost all of them have made great progress in English. They impressed us by speaking without hesitation or looking at notes and with great gestures and attitude.

基礎放射線医学分野 續 輝久

SILICON VALLEY
ENGLISH STUDY
PROGRAM(SVEP)

ENGLISH STUDY
PROGRAM(SVEP)

PROGRAM(SVEP)

